

第21回 今後の治水対策のあり方に関する有識者会議 議事要旨

平成23年12月7日（水）18:15～20:15
中央合同庁舎3号館 11階特別会議室

【出席者】

中川座長、宇野委員、三本木委員、鈴木委員、田中委員、辻本委員、道上委員、森田委員、山田委員、前田大臣、奥田副大臣、津川政務官、宿利事務次官、佐藤技監、増田国土交通審議官、中島総合政策局長

【ダム事業の検証の検討結果について】

○今回は、事務次官をヘッドとするタスクフォースから「3. 11震災を踏まえた今後の治水システムに関連する知見・情報の整理」について報告を受け、これについて有識者会議から意見等を述べた。

○委員の主な発言は以下のとおり。

- ・利根川全体で考えて、治水計画を超える現象が起きた場合に「命を守る」「ライフラインを守る」ことが重要な課題である。
- ・外力に上限はないと思うが、外力のレベルによっては、河川整備計画レベルの施設で被害を防ぐことができること、施設がない場合に比べて被害が大きくなること、被害があるとしても予測、予知等を行って何らかの措置を講じ被害を軽減していくことができること等を明らかにし、災害にキャップをはめていくことが重要であり、このように考えれば、ダム事業の検証がより有効なものとなってくる。
- ・天明泥流規模の泥流の場合、ハツ場ダムは破壊されず、泥流を捕捉できる旨が述べられているが、このように様々な場合についてシミュレーションを行い、情報を示して、地域住民によく理解してもらい、リスク管理を考えていくことが重要である。
- ・避難等の総合的な防災を考えていくことは必要であるが、どのような条件が担保されれば避難できるのかをあわせて考えていくことが重要である。

- ・災害が一定以上になると、社会システム、経済システムが不可逆的になる。利根川のような大都市圏の河川の場合、「命を守る」と同時に「国を守らなければならない」との視点で被害レベルを考えていくことが重要である。
- ・ダムが被災するような大きな外力が働くときに、堤防がどのような状況になっているかを考えあわせ、全体的な治水システムとして考えると、方向性が見い出せるのではないか。
- ・外力に限界はないが、対策には限界がある。土木においては、実際にはあらゆる自然現象を想定していると思うが、財政上、立地上の制約のもとで計画、設計を行ってきたのではないか。財政上の制約のもとで作成されている河川整備計画を、当会議の「中間とりまとめ」では重視している。
- ・「ハード」「ソフト」については、よく整理して議論すべきではないか。情報、避難、土地利用などのソフト対策は、計画を超える場合の主たる対策であるが、計画内の外力でも役に立つ。一方、河川整備計画レベルの施設は、巨大災害が発生した場合、砂防施設のように機能し、自ら犠牲になり、自ら埋没することによって国土を守ることで、役に立つこともあるのではないか。
- ・今回の報告でも整理されているように、「日本という国は、必然的に自然災害が多い」ということを日本国民が共有して、忘れないようにしていくことが重要である。
- ・ハリケーン・カトリーナの教訓として、大災害となったのは、国も州も市も決定的なリーダーシップをとる者がいなかったからである。このため、治水という問題に対して国を守っていく上では、非常に大きなリーダーシップが必要であり、そのための人と組織が重要である。
- ・情報技術が進んだ我が国において、今年の台風によって紀伊半島で約100名の被害があったことは重く受け止めるべきである。地方公共団体では専門性を有する人材を確保できないことから、規模の小さい

河川においても国が洪水予報を行うなどの体制を考えていくべきではないか。

- ・安全工学において、ヒューマンファクターは重要な要素である。今回の報告に関しては、施設をどのように維持管理していくかがポイントであり、そこで「人」は重要な問題となってくると思う。
- ・今回の報告においても示されているように、最適解を追うのではなく、最悪の事態をいかに回避するか、いかに被害を最小化するかが、危機管理においては重要である。
- ・「災害に上限はない」とのことであるが、実際には、国がどこまで責任を負うのか、範囲を明確にし、それに対して責任を負うことをもって、政策的な判断を行っていかざるを得ないのではないか。
- ・タスクフォースから「3. 11 震災を踏まえた今後の治水システムに関連する知見・情報の整理」について報告があった。今回得られた知見・情報は、俯瞰的に見てよく整理されていると理解できる。
- ・本日の有識者会議で各委員からあった意見等についてはしっかりと整理し、今回得られた知見・情報を、今後の流域における治水システムを検討する上で、活かしていくことが重要である。